

平成5年度 常緑果樹関係

除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

平成5年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤
委託試験成績検討会は、平成5年2月2日(水)、
クーボール会館(静岡市)において、試験担当
者および関係者多数参集のもとに開催され、除
草剤15剤91点、生育調節剤7剤66点について、
試験成績の報告と活発な質疑応答ならびに慎重
な審議が行われた。
また、普及適用性試験の除草剤5剤41ヶ所、
生育調節剤2剤10ヶ所についても各担当県から
報告された。
委託試験成績の判定結果は、次表の通りであ
る。

平成5年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定結果一覧

A. 除 草 剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分およ び含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 続 別	試験担当場 所名 <は中 間または実 施中>	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. グリホサート 液剤 (ラウンドアップ) 〔日本モンサント〕	イソプロピルア ンモニウム=N (ホスホノメチ ル)グリシナート ……………41%	カンキ ツ	適用性 継 続	千葉暖地, 三重紀南, 広島常緑, 愛媛岩城, 徳島県北. (5)	〔雑草全般; 10倍希釈〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 40, 50, 60 ml の 10 倍液(0.4, 0.5, 0.6 l); 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml<2.5l>.	実・ 継	実)〔雑草全般(スギナ を除く): 10倍希釈〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・10倍液の0.4～0.6 l/a 散布. ・茎葉処理. ・専用ノズル使用. 継)・効果の確認.
2. BGX-816 水溶液 (インパルス) 〔インパルス普 及会: 明治製 薬〕	ピアラホス ……………8% グリホサート ……………16%	カンキ ツ	適用性 継 続	神奈川根府 川, 和歌山果 園試, 香川 府中, 熊本 果樹, 大分 柑試, 鹿児 島果試. (6)	〔雑草全般; 多年生雑草 対象〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm以下) ; 60, 80, 100 g <10 l>; 茎葉処理. 対: プリグロックスL 液剤 80ml<10l>.	実・ 継	実)〔雑草全般〕 ・春～夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象: 40 ～60 g/a, 多年生 雑草対象: 60～100 g/a<10 l/a>. ・茎葉処理. 継)・多年生雑草の草種 の確認.

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継続 の別	試験担当場所名 <は中 間または実 施中 (例)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
Hoe-86610 液剤 (ハヤブサ) 〔ハヤブサ普及 会: ヘキスト ジャパン〕	グルホシネート 8.5%	ビワ	適用性 新規	千葉暖地, 長崎果試. (2)	〔一年生雑草全般〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm以下) ; 40, 50, 75ml <10 ~15 l>; 茎葉処理. 対: プリグロックスL 液剤 80ml <10~ 15 l>.	実・ 継	実) 〔一年生雑草全般〕 ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・40~75 ml/a <10 ~15 l/a>. ・茎葉処理. 継) ・効果の確認.
4. HOK-916 粒剤 〔北興化学工業〕	ジクロベニール 4% ブタミホス 3%	カンキ ツ	<4年 度> 適用性 継続	大阪農技, 広島柑橘, 福岡園研, 宮崎総農試. ②秋期処理. (4)	〔一年生雑草全般及び多 年生広葉雑草〕 ①早春, 雑草発生前, ②秋期, 中耕または除 草後; 600, 900, 1,200 g; 土壌処理. 対: カソロン粒剤 6.7 1,000 g.	実・ 継	実) 〔一年生雑草および 多年生広葉雑草〕 ・秋~春期, 雑草発生 前. ・秋期 900~1,200 g /a, 冬~春期 750 ~1,200 g/a. ・土壌処理. 注) 既発生雑草には, 効果が劣るので, 中 耕や除草後に散布す る. 継) ・秋期処理の薬量確 認.
5. Mon-6069 水溶剤 〔日本モンサント〕	アンモニウム= N (ホスホノメ チル) グリシナ ート.....66%	カンキ ツ	適用性 継続	三重紀南, 山口大島, 愛媛岩城, 長崎果試, 鹿児島果試. (5)	〔一年生雑草及びチガヤ, ヨモギ, ギンギン, タ ンポポなど〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 15, 30 g <2.5, 10 l>; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 25ml <2.5 l>.	実	実) 〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・一年生雑草対象: 15 ~30 g/a, 多年生 雑草対象: 30 g/a <2.5 (専用ノズル 使用), 10 l/a>. ・茎葉処理.
6. Mon-93 顆粒水和剤 〔日本モンサント〕	未公開	カンキ ツ	作用性 新規	果樹試興津. (1)	〔一年生雑草及びチガヤ, ヨモギ, ギンギン, タ ンポポ, スギナなど〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 40, 50, 60 g <10 l>; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml <10 l>.	-	-

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所名 <は中 間または実 施中>	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
7. Mon-93A 液剤 〔日本モンサント〕	グリホサートアンモニウム塩33%	カンキツ	適用性 新 規	果樹試口之津, 三重紀南, 大阪農枝, 山口大島, 宮崎総農試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm位); 25ml<2.5 l>, 50ml<2.5, 10 l>; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液剤 25ml<2.5 l>.	継	継)・効果, 薬害の確認.
8. Mon-93B 液剤 〔日本モンサント〕	グリホサートノルマルプロピルアミン塩...41%	カンキツ	適用性 新 規	果樹試口之津, 三重紀南, 大阪農枝, 山口大島, 宮崎総農試. (5)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm位); 25ml<2.5 l>, 50ml<2.5, 10 l>; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液剤 25ml<2.5 l>.	継	継)・効果, 薬害の確認.
9. PR-084 液剤 〔ゼネカ〕	既知化合物2種混合.....32% 1.9%	カンキツ	適用性 新 規	神奈川根府川, 静岡柑試, 愛知蒲郡, 兵庫淡路, 愛媛南予, 徳島果試. (6)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下); 25, 50, 75ml<10 l>(25mlは一年生雑草対象); 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液剤 50ml<10 l>.	継	継)・処分未公開. ・効果, 薬害の確認. ・薬害試験の継続.
			薬害 新 規	神奈川根府川, 静岡柑試. (2)	〔薬害試験〕 ①春期および夏期; 150→150ml, ②春期または夏期; 357ml<10 l>; 土壌処理, ③春期または夏期; 75ml<10 l>; 茎葉処理.		
10. PR-085 液剤 〔ゼネカ〕	既知化合物 ... 340 g ai/l	カンキツ	適用性 新 規	兵庫淡路, 広島常緑, 高知果試. (3)	〔雑草全般〕 春期および夏期, 雑草生育期(草丈30cm以下); 25, 50, 75ml<10 l>; 茎葉処理. 対: タッチダウン液剤 40ml<10 l>.	継	継)・成分未公開. ・効果, 薬害の確認.

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継 の別	試験担当場所 ＜＞は中間または実施中 (数)	試験設計 〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今回判定	内 容
11. SC-224 液剤 (タッチダウン)	トリメチルスルホニウム＝N (ホスホノメチル)グリシナート……………38%	カンキツ	適用性 継 続	和歌山果園試，兵庫淡路，愛媛果試。 (3)	〔雑草全般； 5 l 散布〕 春期および夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)； 20, 40, 60ml < 5 l >， 20ml 一年生， 40～60ml 多年生対象； 茎葉処理。 対：ラウンドアップ液剤 50ml < 5 l >。	実	実) 〔雑草全般(スギナを除く)〕 ・春～夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・20～60 ml / a < 2.5 ～ 5 (専用ノズル使用)， 10 l / a (但し， 20ml / a は一年生雑草主体の場合)。 ・茎葉処理。
			適用性 継 続	神奈川根府川，愛知蒲郡，大阪農技，和歌山果園試，愛媛果試，徳島果試，福岡園研，長崎果試。 (8)	〔雑草全般； 10倍希釈〕 春期および夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)； 40, 50, 60ml の 10 倍液 (0.4, 0.5, 0.6 l)； 茎葉処理。 対：タッチダウン液剤 50ml < 10 l >。	実・継	実) 〔雑草全般(スギナを除く)； 10倍希釈〕 ・春～夏期，雑草生育期(草丈30cm以下)。 ・10倍液の 0.4 ～ 0.6 l / a 散布。 ・茎葉処理。 ・専用ノズル使用。 継) ・効果の確認。
12. SL-160 水和剤 (シバゲン)	フラザスフロロ……………10%	カンキツ	＜4年 度＞ 適用性 継 続	静岡柑試，奈良農試，広島柑橘，愛媛果試，佐賀果試，大分津久見。 ②早春期。 (6)	〔雑草全般〕 ①春期(3月下旬～4月)，②早春期(1～2月)，雑草生育期(草丈20cm以下)； 5, 7.5, 10 g < 10～15 l >； 茎葉処理；展着剤加用。 対：バスタ液剤 50ml < 10 l >。	実・継	実) 〔雑草全般〕 ・早春～春期，雑草生育期(草丈20cm以下)。 ・7.5～10 g / a < 10 ～ 15 l / a >。 ・展着剤加用。 ・茎葉処理。 継) ・効果の確認。
			適用性 継 続	静岡柑試，広島柑橘，愛媛果試，佐賀果試，大分津久見。 ①春期 ＜②早春 期＞ (5)	〔雑草全般〕 ①春期(3月下旬～4月)，②早春期(1～2月)，雑草生育期(草丈20cm以下)； 7.5, 10 g < 10 ～ 15 l >； 茎葉処理；展着剤加用。 対：バスタ液剤 50ml < 10 l >。		
			作用性 継 続	果樹試興津，果樹試口之津。 (2)	〔連年施用〕(3年目) 春期； 20 g < 10 l >； 茎葉処理；展着剤加用。		
〔石原産業〕							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継別の	試験担当場所 名は中間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
13. SL-161 水和剤 〔石原産業〕	未公開2種混合 ………19.6%	カンキ ツ	作用性 新 規 適用性 新 規	植調研. (1) 静岡柑試, 広島柑橘, 愛媛果試, 佐賀果試, 大分津久見. (5)	〔一年生雑草, 小型多年 生イネ科・多年生広葉 雑草〕 春期(3月下旬~4月), 雑草生育期(草丈20cm 以下); 25, 30, 40 g <10~15 l>; 茎葉処 理; 展着剤加用. 対: パスタ液剤 50ml <10~15 l>.	継	継)・成分未公開. ・効果, 薬害の確認.
14. SUM-302 顆粒水和剤 〔日本モンサント・住友化学 工業〕	アンモニウム=N (ホスホノメ チル) グリシナ ート………30% フルミクロラッ クペンチル ………2%	カンキ ツ	適用性 継 続	愛知蒲郡, 山口大島, 佐賀果試, 熊本天草, 宮崎総農試. (5)	〔一年生雑草及びチガヤ, ヨモギ, ギシギシ, タ ンポポなど〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 40, 50, 60 g <10 l>; 茎葉処理. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml<10 l>.	実・ 継	実)〔雑草全般〕 ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・40~60 g/a<10 l /a>. ・茎葉処理. 継)・多年生雑草に対す る効果の確認.
15. ULV-03 液剤 〔日本モンサント〕	イソプロピルア ンモニウム=N (ホスホノメチ ル) グリシナ ート………6%	カンキ ツ	適用性 継 続	兵庫淡路, 山口大島, 長崎果試, 宮崎総農試, 鹿児島果試. (5)	〔一年生雑草及びチガヤ, ヨモギ, ギシギシ, タ ンポポなど〕 春期および夏期, 雑草 生育期(草丈30cm程度) ; 300, 400, 500 ml <原液散布>. 対: ラウンドアップ液 剤 50ml<2.5 l>.	実	実)〔雑草全般(スギナ を除く)〕 ・春~夏期, 雑草生育 期(草丈30cm以下). ・300~500 ml/a <原液散布: 専用散 布器使用>. ・茎葉処理. 注) 低薬量では, 散布 むらが出ることがあ るので注意する.

B. 生育調節剤

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継別の	試験担当場所 名は中間または実 施中 (数)	試験設計 〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 l>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
1. GR-58 乳剤 (マデック) 〔アグロ カネ ショウ〕	MCPB…20%	清 見	<4年 度> 適用性 継 続	山口大島, 愛媛南予, 佐賀果試, 大分津久見. (4)	〔収穫前落果防止〕 ①無処理, ②11月下旬 1回, ③12月下旬1回, ④11月下旬+12月下旬 の2回; 3,000倍; 立 木全面散布.	実・ 継	実)〔清見: 収穫前落果 防止〕 ・11月下旬, 12月下旬 のいずれか1回ある いは2回. ・3,000倍. ・立木全面散布. 継)・効果の確認と年次 変動.

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率（％）	作物名 （品種）	試験の種類 新・継別の	試験担当場所名 ＜＞は中間または実施中（数）	試験設計〔対象雑草； ねらい〕 処理時期；薬量＜水量 l＞／a；処理方法等	今回判定	内 容
1. GR-58 乳剤 （つづき） <							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率(%)	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 続の別	試験担当 場所名 <は中 間または実 施中>(数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 I>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
1. GR-58 乳剤 (つづき)		河内晩 柑, ふ んたん, いよか ん等	<4年 度> 適用性 新 規	河内晩柑; 熊本果樹, ブント(オ オタチバナ) ; 鹿児島果 試. (2)	〔越冬果実の落果防止〕 11月中旬+翌年1月下 旬の2回; ①無処理, ②3,000倍→3,000倍, ③2,000倍→2,000倍; 立木全面散布.		
〔アグロ カネ ショウ〕			適用性 継 続	河内晩柑; <愛媛南 予>, <熊 本果樹>, <熊本天 草>. 大橋(ブン タン); <鹿児島 果試>. 大谷伊予柑; <愛媛南 予>. (5)			
2. J-455 乳剤 (フィガロン)	エチクロゼート20%	ウンシ ュウミ カン (露地)	作用性 継 続	果樹試興津, 果樹試口之 津. (2)	〔エスレルとの混用によ る摘果; 群状結実用部 分全摘果〕 別途協議; 前年と同一 樹を使用.	実・継	実) (前年通り) 〔ウンシュウミカン: 群状結実用部分全摘 果〕 ・満開後15~20日後. ・1,000倍<葉先から したたり落ちる程 度>. ・エスレル2,000倍加 用. ・群状結実用に部分全 摘果したいところに 散布(専用ノズル使 用). 継)・群状結実用部分全 摘果の翌年への影響, 着花について.
			<4年 度> 適用性 継 続	神奈川根府 川, 静岡柑 試, 和歌山 果園試, 山 口大島, 香 川府中, 愛 媛果試, 佐 賀果試, 熊 本果樹. (8)	〔エスレルとの混用によ る摘果; 群状結実用部 分全摘果〕 満開後15~20日目; フ ィガロン1,000倍+エ スレル2,000倍; 詳細 は, 別途協議.		
〔日産化学工業〕			適用性 継 続	神奈川根府 川, 静岡柑 試, 和歌山 果園試, 広 島常緑, 山 口大島, 香 川府中, 愛 媛果試, 佐 賀果試, 熊 本果樹. (9)	〔エスレルとの混用によ る摘果; 群状結実用部 分全摘果〕 満開後10~20日目; ① 人手による群状結実, ②フィガロン1,000倍 +エスレル2,000倍; 詳細は別途協議. (翌年の継続調査)		

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継続	試験担当場所名 <は中 間または実 施中 (数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 I>/a; 処理方法等	今 回 判 定	内 容
3. PP-333 フロアブル剤 (バウンティ)	パクロブトラゾール……21.5%	ウンシ ュウミ カン (露地)	<4年 度> 作用性 継 続	果樹試験津. (1)	〔新梢伸長抑制; 連年施用〕 新梢発芽直前~5mm以下; 500, 250倍; 立木全面散布.	実	実)〔ウンシユウミカン: 新梢伸長抑制〕 ・新梢発芽直前~5mm以下. ・500~250倍1回散布. ・立木全面散布.
		ウンシ ュウミ カン (ハウス)	<4年 度> 適用性 継 続	静岡柑試, 愛知蒲郡, 和歌山果園試, 愛媛果試, 佐賀果試, 長崎果試. (6)	〔夏枝新梢伸長抑制〕 新梢発芽直前~5mm以下(収穫後処理); 500~250倍; 立木全面散布; 翌春調査.		
			適用性 継 続	夏秋梢; 静岡柑試, 愛知蒲郡, 佐賀果試, 秋梢; 静岡柑試. (4)	〔新梢伸長抑制; 加温後の着花, 新梢・果実品質等の調査〕 収穫後, 新梢発芽直前~5mm以下; 500~250倍; 立木全面散布.		
4. RIC-1 液剤	海藻ホモジネート	ウンシ ュウミ カン (ハウス)	<4年 度> 適用性 継 続	愛知蒲郡, 三重紀南, 愛媛南予, 佐賀果試, 長崎果試. (5)	〔品質向上, 樹勢回復〕 10~11月に土壌処理, 1月以降1ヵ月毎立木全面処理; ①土→5,000倍3回, ②土→3,000倍3回; 土壌処理; 100mlを降雨前500~200倍, 乾燥時3,000~2,000倍	-	-
		ウンシ ュウミ カン	基 礎 新 規	果樹試安芸津, 愛媛大学, 鹿児島大学. (3)	一任.		
		いよかん	適用性 継 続	愛媛果試, <愛媛岩城>. (2)	〔樹勢強化, 品質向上等〕 一任. (収穫時期を12月と1月に分け調査)		
〔ロイヤルインダストリーズ〕							

薬剤名・剤型 〔委託者名〕	有効成分および含有率 (%)	作物名 (品種)	試験の種類 新・継続 の別	試験担当場所名 <>は中間または実施中 (数)	試験設計〔対象雑草; ねらい〕 処理時期; 薬量<水量 I>/a; 処理方法等	今回判定	内 容
5. S-327D 乳剤	ユニコナゾール P……………5%	ウンシ ュウミ カン (露地 または ハウス)	<4年 度> 作用性 継 続	露地; 果樹 試口之津, 静岡柑試. ハウス: 愛 媛大学, 鹿児島大 学. (4)	〔新梢伸長抑制〕 処理時期・回数は、別 途協議; 400, 200, 100 倍; 立木全面散布 ; 翌春調査.	実	実)〔ウンシユウミカン : 新梢伸長抑制〕 ・新梢発芽直前～5 mm 以下. ・200 倍, 1～2 回散 布. ・立木全面散布.
		ウンシ ュウミ カン (ハウ ス)	<4年 度> 適用性 継 続	長崎果試, 鹿児島果試. (2)	〔秋枝伸長抑制〕 秋枝発芽直前～5 mm 以 内; 400～200 倍, 1 ～2 回; 立木全面散布 ; 翌春調査.		
		ウンシ ュウミ カン	作用性 継 続	鹿児島大学. (1)	〔着花増加効果〕 別途協議. (翌年への影響も調 査)		
			適用性 継 続	<静岡柑 試>, <福 岡園研>, <熊本天 草>, <大 分柑試>. (4)	〔着花増加効果〕 ①無処理, ②12月下旬 ; 100 倍 (500 ppm), ③1 月下旬; 100 倍 (500 ppm); 立木全面 散布. (翌年への影響も調 査)	保 留	
〔住友化学工業〕							
6. 改良C-MH 液剤 (エルノー)	マレイン酸ヒド ラジドコリン ……………39%	ウンシ ュウミ カン (ハウ ス)	<4年 度> 適用性 継 続	徳島果試, 佐賀果試, 長崎果試. (3)	〔夏秋梢伸長抑制〕 (夏枝結果母枝型) 8 月中～9 月上旬 1 回 散布 (その後の梢発生 の激しい地域では更に 1 回散布する); 67, 80, 100 ml (300, 250, 200 倍<20 l>; 立木全面散布, 試験区 が取れない場合は, 80 ml 区をはぶく; 翌春 調査.	実	実)〔ウンシユウミカン : 夏秋梢伸長抑制〕 ・夏～秋, 新梢萌芽期. ・(露地) 夏期, 200 倍 2 回散 布. 秋期, 200～100 倍 1 回散布. ・(ハウス) 300～200 倍, 1～ 2 回散布. ・立木全面散布. 注) 発芽がみられない 木には散布をさける.
			(5年 度～3 年度) 適用性 継 続	和歌山果園 試. (1)			
〔エルノー普及 会: 日本ヒド ラジン工業〕							
7. CS-2H 水溶剤	未公開カルシウ ム塩類	ウンシ ュウミ	作用性 継 続	愛媛大学, 山口大学. (2)	〔浮皮防止〕 一任.	－	(・適用性試験で検討)
〔白石カルシウ ム〕							